



早朝の琵琶湖と水鳥たち

# レイ大高島通信

レイカディア大学同窓会高島支部



第85号 令和3年11月30日

発行責任者 清水 良秋

◎「感染者激減も、新たな「オミクロン株」情報あり  
感染予防は怠りなく！」

初冬の候、会員の皆様益々お元気で過ごさしめたいと喜び申し上げます。

日々当会にご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年の2月以来、ダイヤモンドプリンセス号に始まり、連日連夜新型コロナウイルスで世界中が振り回されています。10月1日現在、公式発表で亡くなられた方が600万人を超え、非公式の数はこの数字の2〜3倍にも達するとの事。1日に8000人以上の方が亡くなっておられます。一度感染すると必ず副作用による後遺症が起きるとか？

何という恐ろしい事でしょうか。いつ収まるのでしょうか。

幸い日本では、9月以降ワクチン接種の効果で感染者が激減しています。10月からは、ド

クターもびっくりされる程の減少です。11月に入って各方面での制限緩和がとも心配です。第6波が予想より早く来て、感染拡大が繰り返されないか不安です。

昨年3月に前の支部長がインカ帝国が滅びた原因が、ウイルスだった事を教えてくださいました。木下前支部長の話が現在を予測されての話だとすると、思い出深い事です。

イギリス、ロシア、韓国、アメリカ等の各国では、ワクチン接種が2回終わった方での感染拡大が続いていると聞くと、先が見えず不安です。コロナ禍はまだ続くと予測されますが、皆さん感染予防に努め、お元気にお過ごし下さい



錦秋に染まる  
メタセコイヤ並木

◎高島支部の活動報告

(9月以降)

9月15日 会員に俳句を募集

6名の方より16句応募有

10月5日 支部役員会開催

11月26日 地域活動

やすらぎ荘剪定、草刈

作業 18名参加

11月9日 G.G.クラブ主催

大会雨天中止18名申込有

11月30日 支部役員会予定

◎同窓会本部・本校 だより

10月5日 第43期生入学式

草津・米原校 計210名

11月15日 地域活動事例発表会(ひまわり館)

高島支部(今回発表辞退)

※同窓会40周年記念行事

12月1日 支部対抗のの大会

長浜ブレイク 9名参加予定

12月17日 記念式典

県立男女共同参画センター

※大学祭 米原11月17日

草津3月4日 各2日間

◎ボランティア活動(剪定・除草作業)について

38期びわこ環境 高島成弘

晴天の10月26日(火)

18名が参加して、毎回高島支部役員会の会議の場として、お借りしている新旭町の「やすらぎ荘」において、地域活動のボランティア事業として今年も剪定・除草作業を行いました。



参加して頂いた18名の方々  
於：やすらぎ荘 R3.10.26

午前9時から作業を開始し、1時30分頃には無事終えることができ、やすらぎ荘の職員の方からお礼の言葉をいただきました。



職員の方からお礼の言葉  
「毎年レイ大高島支部の方の地域活動が待ち遠しい」



(作業後)  
短時間で見違える程  
きれいになった庭園



各所に分散し手際よく作業される皆様

◎パラリンピックで教えられました

38期園芸 西澤幸夫

オリンピックに続いてパラリンピックには感動させられました。



パラリンピックに於いて「本人のある能力を徹底的に使い切る」という言葉をよく聞きました。

だいぶ昔の朝ドラ主題歌「にじいろ」の歌詞で好きなフレーズがあります。

「なぐしたものを数えて

瞳閉ぢすよりも

あるものを数えた方が

瞳輝きだす」

パラリンピックではあるものを数えるだけでなく使い切ることを教えてくれました。

この精神は健常者にも当てはまると思います。持って生まれ

た能力を使い切れなくて一生を終えることは、食品ロスと同じだと思います。

食べるために生産された食品を消費しないで捨ててしまうことは非常にもったいないことです。私たちも食品ロスにならないように生きたいものです。



◎防災レポート 4

37期びわ湖環境学科

防災士 川尻耕生

先回の第84号でも見ました「短時間豪雨」の関連について考えて見ましょう。



最近「線状降水帯」という言葉をよく聞きます。線状降水帯は積乱雲（入道雲）が次々と発生して連なり大雨を長く降らせる現象で、各地で水害を引き起こしています。

気象庁は今年の6月から「線状降水帯」の発生情報を発表するようにになりました。

しかし気象庁の発表のみを待っていると、発表時点ではすでに災害が発生している可能性もあります。

気象庁の発表前に出ている気象情報や避難情報にも注意して、命を守るため

早めの避難を考えましょう。



◎水害対策とカワウ対策の関連について

平成25年9月、台風18号襲来により鴨川の堤防決壊を筆頭に滋賀県下・高島市内各地で豪雨災害が発生させ、私たちの脳裏に目新しい記憶として残っております。その後、全国各地、滋賀県内の危険な一級河川に対し急ピッチで種々諸々の対策工事が進められております。私ども生活圏沿線の安曇川も堤防改修工事等が順次出来上がつてきております。

洪水予防対策の一つとして河川敷内の竹藪の伐開が4～5年前から始まり、161バイパス安曇川最下流の琵琶湖岸まで本年船木最下流の琵琶湖岸まで本年見事に伐開工事が完了しました。沿線の太田区民として洪水のリスクが少なくなったと喜んでおります。



最下流の琵琶湖岸迄  
伐開された安曇川河川敷

反面、急ピッチの工事の因果関係かと思われる事象も発生し住民の方々の悩ましい問題として、新たな対策が検討されております。

数年前から伐開工事でねぐらを追われたカワウが太田地先の森林・藪に沢山移住し棲息しております。年々糞害、悪臭、騒音等の被害が増加し日常生活に支



カワウだけでなく、アオサギ、白鷺等の野鳥もかなりの営巣状態確認あり。 巣の近くの安曇川河川敷で魚を狙うカワウやサギの群れ



カワウの巣

以前カワウの糞害で竹生島の松枯れ問題が深刻化した太田地先の森林樹木も、現在かなりの影響あり

障を来しております。令和3年5月時点で、個体数2474羽・営巣数1026巣がカウントされて、今や県内屈指のコロニー保有地域となつてしまいました。(資料・写真は太田区長様より提供頂きました)



俳句

春来たど花びらほほに宮の森

若草を足に踏みしめお買い物



20期生活科学  
山形ひさ江

子らの手に

さわられ嬉しおじぎ草

40期びわ湖環境

早川正子



家飲みの方を勤める 心太

雲の峰 次々生まれ 降水帯

コシヒカリ

穂も太りつつ 実り待つ

37期びわ湖環境

川尻耕生



ワクチン2回

それでも心配 高齢者

復興が コロナ防衛に席卷五輪

2かいして大事な人への愛情を

3回は 必要なのかブースター

コロナ禍で

大事なものを 自覚する



38期園芸

西澤幸夫

虫籠に すぐ虫届き 鳴きにけり



秋なすび たわわ紫紺の実りけり

25期園芸

戸島忠雄

早天や赤しそジュース疲れとぶ

コロナ禍で免疫つけよう甘酒で

湯掻き栗

はぜるスプーンや 観る五輪

28期生活科学

戸島洋子

◎情報提供

「今津港から竹生島へ行く」  
高島市民を対象に、今津港を  
発着する竹生島クルーズにおい  
て、11月～12月31日まで  
毎便先着15名限定で乗船料金を  
半額とするキャンペーン実施  
中。健脚のレイ大高島支部会員  
様へのお知らせ（予約要）



ビラデスト今津から  
望む伊吹山と竹生島

編集後記

今回も皆様方から多くの原稿  
を提供いただきました。ありが  
とうございました。

たかしま応援プロジェクト第8  
弾の「地域通貨アイカ」が高島  
市民各世帯に届けられました。  
地域活性化のために明るい新年  
を迎えるためにも有効活用した  
いものです。(Y・M)